木更津総合 粘勝

延長13回タイブレーク

山梨学院戦に先発した木更津総合・越井＝甲子園

選抜高校野球大会第3日は21日、甲子園球場で1回戦3試合が行われ、木更津総合（千葉）、金光大阪、高知が2回戦に進んだ。

第94回 センバツ

木更津総合は山梨学院にタイブレークの末、延長十三回、2―1でサヨナラ勝ち。押し出し四球で決勝点を挙げた。越井が13回を6安打1失点で完投。金光大阪は日大三島（静岡）を4―0で下し、春夏通じて甲子園初勝利を挙げた。古川が4安打完封。高知は東洋大姫路（兵庫）に4―2で勝った。五回に4長短打を集めて3点を奪った。

▽1回戦
山梨学院―木更津総合（9時01分、14000人）

山梨学院（山梨）	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
木更津総合（千葉）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2

（延長十三回）

（山）榎谷―佐伯
（木）越井―中西

⑤…木更津総合が延長サヨナラ勝ち。タイブレークの十三回1死満塁から、須永の押し出し四球で試合に終止符を打った。越井は6安打に抑えて完投。緩急をつけた投球で的を絞らせず、五回の2本の二塁打による1点にしのいだ。

山梨学院は榎谷を援護できなかった。十三回、無死一、二塁からバント失敗と併殺で無得点に終わったのが痛かった。

熱投実らず
山梨学院・榎谷

○…山梨学院の榎谷は155球の熱投も実らなかった。越井との投げ合いで屈し「関東ナンバーワン右腕に投げ勝ちたかった」と唇をかんだ。

タイブレークに入った延長十三回は1死一、三塁から申告敬遠で満塁策。「気合で投げようとしすぎて、浮いてしまった」と制球を乱した。押し出し四球でサヨナラ負けし、肩を落とした。

十三回は無死一、二塁で迎えた先頭打者に対し、中堅手を投手と一塁手の間に置くバント守備のシフトを敷いた。ただ、相手は強攻。左飛で二塁走者の三塁進塁を許して不発に終わり、吉田監督は「外野フライでサードまで行かれたのが大きかった」と残念がった。

強力打線を抑え込む
越井

166球の熱投で、強力打線を抑え込んだ。木更津総合のエース越井は出場校トップのチーム打率4割9厘を誇る山梨学院を相手に、延長十三回を投げ抜いて6安打1失点。タイブレークは無失点にしのいでサヨナラ勝ちを呼び込み「絶対に投げきって、流れをつくりたかった。勝ててうれしい」と声を弾ませた。

序盤は小気味良く、速いテンポで投げ込んで相手を翻弄。五回に追い付かれてからは「コントロール重視でいく」と切り替え、丁寧にコースを突いて打たせて取った。回を重ねるごとに制球は安定し、十～十二回は走者を一人も許さなかった。

無死一、二塁で始まった十三回は先頭打者の送りバントを処理して三塁に送球し、二塁走者を刺して好機拡大を阻止。次打者を「狙い通り」に外角低めの直球で二ゴロ併殺打に仕留めると、両拳を力強く握り、雄たけびを上げた。

自慢の速球を生かすため、今冬は変化球の制球向上に取り組んだ。ブルペン投球から打者を立たせ、変化球をコースに投げ分ける練習を繰り返した。五島監督も「直球は抑え気味でもコントロール重視で抑える。冬の成果が出た」とたたえた。

関東地区同士の対決を制し、勢いに乗って2回戦に臨む。越井は「苦しい展開で勝てたことは大きい。きょうのように最少失点で抑える投球をしたい」と意気込んだ。

【山梨】	打	安	点	振	球
⑦渋谷	5	0	0	0	0
⑨皇野	4	0	0	0	0
④鈴木	5	1	0	2	0
③高橋	5	1	1	0	0
⑤佐藤	5	1	0	0	0
②仲田	5	0	0	1	0
⑧沢木	3	0	0	0	0
⑥進藤	2	0	0	0	0
①榎谷	4	1	1	0	0
犠盗失併残					
1 0 2 1 7	42	6	1	4	2

【木更津】	打	安	点	振	球
⑧山中	5	2	0	0	1
⑤西田	5	1	1	2	0
⑨地野	3	0	0	1	0
⑦永井	4	2	1	1	0
③須川	4	2	0	0	0
R③芦倉	2	0	0	0	0
④朝野	3	0	0	0	0
④細辺	4	0	0	1	0
③渡邊	3	0	0	0	0
⑥越井（空）	5	0	0	0	0
犠盗失併残					
3 1 0 1 3	44	9	2	7	3

投		回	打	安	振	球	責
榎谷		12⅓	50	9	7	3	1
越井		13	45	6	4	2	1

【三島】	打	安	点	振	球
⑤京寺	4	2	0	0	0
⑧池崎	3	1	0	0	1
③松野	4	1	0	0	0
⑨永口	3	2	1	0	0
HH⑦吉本	3	2	0	1	0
⑥H野川	3	2	0	0	1
②原田	3	2	0	1	0
②田山	3	1	0	0	0
④H野	2	1	0	0	0
犠盗失併残					
1 0 2 0 9	31	4	0	9	4

【金光】	打	安	点	振	球
⑥佐々木	2	0	0	0	0
⑧福川	4	2	0	0	0
①古本	3	2	0	1	0
②岸島	3	3	1	0	0
⑤貴松	4	1	1	2	0
⑦松沢	3	2	0	0	0
③今北	2	2	0	0	0
⑨キヤリ	3	1	0	0	0
④沢田	3	2	0	1	0
犠盗失併残					
2 0 3 1 6	29	6	3	2	3

投		回	打	安	振	球	責
松	手永	8	34	6	2	3	3
古川		9	36	4	9	4	0

【高知】	打	安	点	振	球
⑤山下	5	4	1	2	0
①山西	5	1	1	0	0
⑥高橋	3	2	1	1	0
③友寡	3	2	1	1	0
⑨竹内	3	4	1	0	0
⑦野本	3	4	1	0	0
②西川	2	0	0	0	0
④本倉	3	4	2	0	0
⑧崎谷	3	4	2	0	0
⑤鳴櫛	3	2	0	0	0
1H中嶋	2	0	1	0	0
④東	1	0	1	0	0
④旦三	3	0	1	0	0
③野谷	3	0	1	0	0
犠盗失併残					
2 0 2 0 6	33	6	3	6	2

【姫路】	打	安	点	振	球
⑥小岡	4	0	0	1	0
⑦賀部	3	1	1	0	0
⑨山川	3	4	2	0	0
⑧林根	3	1	1	0	0
3白高	3	1	0	0	0
H③千橋	3	1	1	0	0
③村崎	3	1	0	0	0
②森	3	1	0	0	0
①奥村	3	3	0	0	0
⑤H浦部	3	3	1	0	0
犠盗失併残					
1 1 2 0 7	33	6	2	3	2

投		回	打	安	振	球	責
山中	手下日	5	31	2	2	0	0
	嶋野	3	14	2	0	0	0
森		9	37	6	6	2	3

高知が逃げ切る

▽1回戦
高知―東洋大姫路（14時35分、13000人）

高知（高知）	0	0	0	3	1	0	0	0	4		
東洋大姫路（兵庫）	0	0	0	0	0	0	2	0	2		

（高）山下、中嶋、日野―西野
（姫）森―村崎

⑪…高知が逃げ切った。五回に山下の適時二塁打と高橋友の2点打で3点を先制した。六回には失策で1点を加えた。

先発の山下は5回2安打無失点。六回からは中嶋、日野とつなぎ、2点に抑えた。

東洋大姫路は中盤までの好機を生かせず、粘り強く投げた森を援護できなかった。八回に山根が2点二塁打を放ったが、反撃が遅かった。

高知―東洋大姫路　5回表高知1死一、三塁、山下が左翼線に先制二塁打を放つ

古川4安打完封

▽1回戦
日大三島―金光大阪（12時06分、17000人）

日大三島（静岡）	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
金光大阪（大阪）	3	0	0	0	1	0	0	×	4		

（三）松永―野田
（金）古川―岸本

⑪…金光大阪は古川が散発の4安打完封した。切れのある変化球を有効に使って的を絞らせず、9三振を奪った。打線は一回に貴島の中前への2点適時打と暴投で3点を先制。六回には沢田のスクイズで1点を追加した。

日大三島は序盤と五回の好機を逸したのが痛かった。打線がつながりを欠いて、勢いをつかめなかった。

第4日見どころ

【1回戦】
▽第1試合（9時）
国学院久我山（東京）―有田工（佐賀）
国学院久我山は、昨秋の東京大会を制した。右腕エースの成田は3試合で完投。打っても主軸を務め、投打でけん引する。初出場の有田工は、エース塚本が昨秋登板8試合で6完投、そのうち3試合を完封。両校とも小技を駆使して得点を狙う打線が特長で、好機で得点を重ねたい。
▽第2試合（11時30分）
星稜（石川）―天理（奈良）
星稜の右投げマーガードは140キロを超える直球とカットボールが持ち味で、課題の制球も精度を上げてきた。打線はどこからでも攻撃の起点となる。天理は昨秋チーム打率3割6分、8試合で7本塁打、24盗塁、1試合平均8・5点の強打でエース南沢を援護する。
▽第3試合（14時）
只見（福島）―大垣日大（岐阜）
大垣日大は制球力の高い五島と山田渓の継投に安定感がある。昨秋9試合で30盗塁の機動力を駆使して早めに援護して主導権を握りたい。21世紀枠の只見は選手13人で春夏通じて初の出場。持ち前の粘り強さでロースコアの接戦に持ち込みたい。打たせて取るエース酒井悠をもり立て、勝機をうかがう。

新大関 御嶽海 勝ち越し

御嶽海が寄り切りで玉鷲を下す＝エディオンアリーナ大阪

大相撲春場所 9日目

大相撲春場所9日目（21日・エディオンアリーナ大阪）は、元大関の平幕高安が9戦全勝で単独首位を維持した。新大関御嶽海は玉鷲を力強く寄り切って勝ち越しを決めた。

かど番の2大関は明暗。正代は新小結豊昇龍を寄り切って4勝目を挙げ、貴景勝は遠藤に寄り倒されて3敗に後退した。新関脇の2人は若隆景が逸ノ城を寄り切って勝ち越し、阿炎は宝富士に押し出されて6勝3敗となった。小結隆の勝は負け越しが決まった。高安を追う1敗は御嶽海、若隆景、平幕琴ノ若の3人で変わらず。

十両

島津海	おしだし
菅野	かたすかし
炎鵬	したてなげ
北の若	よりきり
琴裕将	
熱海富	
竜電	
貴健斗	
武将山	おしだし
大翔鵬	こてひねり
美ノ海	よりきり
矢後	よりきり
徳勝龍	おくりだし
水戸龍	おしだし
松鳳山	おしだし
おくりだし	
白鷹山	おしだし
平戸海	こてひねり
大翔丸	よりきり
魁勝	よりきり
朝乃若	おくりだし
東白龍	おしだし
魁聖	おくりだし

令和4年 大相撲春場所番付表

【東】

		初	2	3	4	5	6	7	8	9	10
横綱 照ノ富士 モンゴル 伊勢浜30	3-3 休	○	●琴	●大栄	●宇昇	●逸城	■玉鷲	●阿武	や	や	や
大関 正代 熊本 時津風30	4-5	●大栄	●隆勝	●逸城	●宇良	●阿武	●玉鷲	●明生	●霧馬	●豊昇	●遠藤
関脇 若隆景 福岡 荒汐27	8-1	○玉鷲	●明生	●霧馬	●阿炎	●豊昇	●隆勝	●大栄	●宇良	●逸城	●阿炎
小結 隆の勝 千葉 常盤山27	1-8	●明生	●正代	●玉鷲	●御嶽	●阿炎	●若昇	●豊昇	●逸城	●大栄	●宇良
前頭 大栄翔 埼玉 追手風28	5-4	○正代	●照富	●御嶽	●貴景	●宇良	●宝富	●若景	●阿炎	●隆勝	●琴若
2 逸ノ城 モンゴル 湊28	5-4	●御嶽	●貴景	●正代	●照富	●遠藤	●宇良	●霧馬	●隆勝	●若景	●玉鷲
3 阿武咲 青森 阿武松25	4-5	●阿炎	●若景	●遠藤	●宝富	●正代	□照富	●御嶽	●貴景	●貴景	●霧馬
4 霧馬山 モンゴル 陸奥25	6-3	●遠藤	●豊昇	●阿炎	●若景	●御嶽	●貴景	●逸城	●正代	●明生	●阿武
5 宝富士 青森 伊勢浜35	3-6	○石浦	●琴若	●北富	●阿武	●高安	●大栄	●遠藤	●隠岐	●炎鵬	●貴景
6 北勝富士 埼玉 八角29	4-5	●琴若	●石浦	●宝富	●千代	●佐渡	●遠藤	●高安	●翔海	●若隆景	●御嶽
7 高安 茨城 ☆田子浦32	9-0	○隠岐	●佐渡	●千代	●琴若	●宝富	●志摩	●北勝	●若隆景	●富士	●豊昇
8 千代翔馬 モンゴル 九重30	3-6	●佐渡	●隠岐	●高安	●北翔	●翔猿	●琴若	●若元春	●碧山	●志摩	●妙義龍
9 翔猿 東京 追手風29	4-5	●若元春	●碧山	●志摩	●隠岐	●千代翔	●佐渡	●妙義龍	●北勝	●琴若	●千大
10 志摩ノ海 三重 木瀬32	5-4	●碧山	●若元春	●翔猿	●照富	●琴若	●高安	●隠岐	●佐渡	●千代翔	●輝
11 妙義龍 兵庫 境川35	4-5	●照富	●千代翔	●琴若	●若元春	●千大	●翔猿	●天空海	●隠岐	●若元春	●志摩
12 琴恵光 宮崎 佐渡嶽30	6-3	●千大	●照富	●妙義龍	●千代翔	●志摩	●荒汐	●錦木	●輝	●一山本	●妙義龍
13 千代丸 鹿児島 九重30	4-5	●琴恵	●豊山	●天空海	●琴恵	●照富	●妙義龍	●栃ノ心	●輝	●荒汐	●錦木
14 琴勝峰 千葉 佐渡嶽22	5-4	●千大	●千代丸	●豊山	●千代翔	●天空海	●一山本	●輝	●照富	●栃ノ心	●荒汐
15 天空海 茨城 立浪31	2-7	●栃ノ心	●輝	●千代丸	●千代翔	●琴恵	●一山本	●妙義龍	●千大	●豊山	●大山
16 錦木 岩手 伊勢海31	6-3	○荒汐	●栃ノ心	●輝	●千代翔	●豊山	●碧山	●琴恵	●英乃海	●千大	●丸
17 輝 石川 高田川27	4-5	●一山本	●天空海	●荒汐	●錦木	●豊山	●剣翔	●琴勝峰	●千大	●琴恵	●志摩

【西】

		初	2	3	4	5	6	7	8	9	10
大関 貴景勝 兵庫 常盤山25	6-3	●宇良	●逸城	●豊昇	●大栄	●明生	●霧馬	●玉鷲	●阿武	●遠藤	●宝富
大関☆ 御嶽海 長野 出羽海29	8-1	○逸城	●宇良	●大栄	●隆勝	●霧馬	●明生	●貴景	●豊昇	●玉鷲	●北富
関脇 阿炎 埼玉 錦木29	6-3	●阿武	●玉鷲	●霧馬	●明生	●隆勝	●貴景	●宇良	●大栄	●宝富	●若景
小結 豊昇龍 モンゴル 立浪22	4-5	●●照富	●●霧馬	●貴景	●玉鷲	●若景	●阿炎	●隆勝	●御嶽	●正代	●高安
前頭★ 宇良 大阪 木瀬29	1-8	●貴景	●御嶽	●照富	●正代	●大栄	●逸城	●宝富	●若景	●阿炎	●隆勝
2 玉鷲 モンゴル 片男波37	4-5	●若景	●阿炎	●隆勝	●豊昇	●照富	●正代	●貴景	●明生	●御嶽	●逸城
3 明生 鹿児島 立浪26★	1-8	○隆勝	●遠藤	●若景	●阿炎	●貴景	●御嶽	●正代	●玉鷲	●霧馬	●隠岐
4 遠藤 石川 追手風31	6-3	●霧馬	●明生	●阿武	●石浦	●逸城	●北富	●琴若	●貴景	●正代	●宝富
5 石浦 鳥取 宮城野32★	1-3 5休	○宝富	●北富	●琴若	■逸城	や	や	や	や	や	や
6 琴ノ若 千葉 佐渡嶽24☆	8-1	○北富	●宝富	●石浦	●高安	●隠岐	●千代翔	●佐渡	●遠藤	●翔猿	●大栄
7 隠岐の海 島根 八角36★	1-8	●高安	●千代翔	●佐渡翔	●琴若	●若元春	●志摩	●宝富	●妙義龍	●輝	●明生
8 佐田の海 熊本 境川34	2-7	●千代翔	●高安	●隠岐	●若元春	●北富	●翔猿	●琴恵	●貴景	●照富	●碧山
9 若元春 福島 荒汐28	6-3	●翔猿	●志摩	●碧山	●妙義龍	●佐渡	●隠岐	●千代翔	●高安	●北勝	●照富
10 碧山 ブルガリア 春日野35	3-6	○志摩	●翔猿	●若元春	●妙義龍	●千代翔	●照富	●錦木	●千代丸	●高安	●佐渡
11 照強 兵庫 伊勢浜27	5-4	●妙義龍	●恵	●大栄	●千代翔	●志摩	●碧山	●千代丸	●琴恵	●琴ノ若	●佐渡
12 千代大龍 東京 九重33	4-5	●琴恵	●妙義龍	●照富	●碧山	●栃ノ心	●豊昇	●一山本	●心	●山	●天空海
13 千代の国 三重 九重31	4-3 4休	○豊山	●琴勝峰	●栃ノ心	●天空海	●錦木	●荒汐	●照富	●輝	●荒汐	●篤
14 豊山 新潟 時津風28	4-5	●天空海	●琴勝峰	●荒汐	●輝	●錦木	●千代丸	●栃ノ心	●一山本	●天空海	●山
15 栃ノ心 ジョージア 春日野34	6-3	○天空海	●錦木	●一山本	●荒汐	●千代丸	●豊山	●琴恵	●魁聖		
16 荒篤山 神奈川 荒汐28	5-4	●錦木	●一山本	●輝	●豊山	●栃ノ心	●千代丸	●琴恵	●東龍	●千代丸	●琴勝峰
17 一山本 北海道 放駒28	3-6	○輝	●荒汐	●錦木	●栃ノ心	●王鵬	●琴恵	●千代丸	●豊山	●琴恵	

○＝勝ち　●＝負け　□＝不戦勝　■＝不戦敗　や＝休場　☆＝勝ち越し　★＝負け越し
部屋名の次の数字は年齢

十両

【東】	初	2	3	4	5	6	7	8	9
1 王鵬（東京・大嶽）	7	―	2	●	●	●	●	●	●
2 東龍（モンゴル・玉井）	7	―	2	●	●	●	●	●	●
3 魁聖（ブラジル・大島）	7	―	2	●	●	●	●	●	●
4 朝乃若（新潟・高砂）	7	―	2	●	●	●	●	●	●
5 大奄美（鹿児島・追手）	4	―	7	●	●	●	●	●	●
6 翠富士（静岡・伊浜）	7	―	2	●	●	●	●	●	●
7 水戸龍（モンゴル・錦戸）	7	―	6	●	●	●	●	●	●
8 矢後（北海道・押尾）	2	―	3	●	●	●	●	●	●
9 大翔鵬（モンゴル・追手）	5	―	4	●	●	●	●	●	●
10 北の若（山形・八角）☆	8	―	1	●	●	●	●	●	●
11 平戸海（長崎・境川）	3	―	6	●	●	●	●	●	●
12 白鷹山（山形・高田）	4	―	5	●	●	●	●	●	●
13 竜電（山梨・高田）☆	8	―	1	●	●	●	●	●	●
14 貴健斗（熊本・常盤）	3	―	6	●	●	●	●	●	●

【西】	初	2	3	4	5	6	7	8	9
1 剣翔（東京・追手）	4	―	5	●	●	●	●	●	●
2 英乃海（東京・木瀬）	4	―	2	●	●	●	●	●	●
3 東白龍（東京・玉井）	2	―	3	●	●	●	●	●	●
4 魁勝（東京・浅香）	4	―	6	●	●	●	●	●	●
5 錦富士（愛知・伊浜）	3	―	6	●	●	●	●	●	●
6 松鳳山（福岡・放駒）	4	―	6	●	●	●	●	●	●
7 徳勝龍（奈良・木瀬）	3	―	6	●	●	●	●	●	●
8 大翔丸（大阪・追手）	4	―	5	●	●	●	●	●	●
9 武将山（大阪・藤島）	4	―	5	●	●	●	●	●	●
10 美ノ海（沖縄・木瀬）	3	―	6	●	●	●	●	●	●
11 炎鵬（石川・宮城）	3	―	3	●	●	●	●	●	●
12 熱海富（静岡・伊浜）	4	―	6	●	●	●	●	●	●
13 島津海（鹿児島・放駒）	5	―	3	●	●	●	●	●	●
14 琴裕将（奈良・佐渡）	3	―	2	●	●	●	●	●	●

中入り

「あと二つ勝たない」
御嶽海

さじき席

御嶽海が後半戦の始まりに、ようやく心境を述べた。勝ち越しを決め、今場所初めてリモート取材に現れ「あと二つ勝たないと大関の勝ち越しじゃない。必死にやっていく」と次は2桁勝利を見据える。目玉の新大関の気力は1段階上がったようだ。

節目の一番も冷静だった。玉鷲の突き、押しに後退するも、右前まわしを引くと左を差し込んで形勢逆転。一気に寄り切り、表情を崩さず息をついた。

本来は話術も巧みな男が初日から沈黙を貫いたのは、新たな立場の重責があった。「集中して自分のことを考えないと。インタビューも受けられなかった」と説明。高安を1差で追う優勝争いについて「1日1勝を目指して頑張っていく。自分の相撲を取るだけ」と淡々と続けた。

武隈親方（元大関豪栄道）は現役時代に寡黙ながら、好不調にかかわらず取材に耳を傾け、短くても必ず返答してくれる人々を思い「それも仕事の一つだと思っていた。無視をされたら自分も嫌だ。勝負に関係ない」と話す。

3年ぶりに観客を入れた浪速の土俵。大きな拍手を受ける主役の意欲が伝わらず、どこかもどかしさがあった。今後の取材対応について聞かれ、御嶽海は「気分で来ます」と不敵に笑った。番付の重みに耐え、期待に応えられるか。看板力士の気概を示すのは、ここからだ。

新関脇・若隆景 5連勝で給金

○…新関脇の若隆景が5連勝で勝ち越しを決めた。206キロで関取最重量の逸ノ城に右の差し手を抱えられてしばらく動きが止まったが、左おっつけからもろ差しに成功すると一気に寄り立てて勝負をつけ「よく我慢できたと思う」と話した。

幕内では3番目に軽い130キロで、新小結だった昨年の名古屋場所は5勝10敗とはね返された。今場所は前に出る力が光っており「体が小さいので、しっかり下からという意識を持って相撲を取っている」と、おなじみの言葉を繰り返した。

八角理事長（元横綱北勝海）は「自信がつくんじゃないか」と確かな成長を認めた。

無傷の高安 反省忘れず

○…高安は巨漢の碧山を力強く押し出して無傷の9連勝。「相手の出方を見て、落ち着いて前に出て勝負を決められた」とうなずいた。途中、引いて呼び込む危ない場面があった点には「余計なはたきだった」と反省も忘れなかった。

東前頭7枚目の地位で5日目から単独トップに立つ32歳の元大関は、10日目に今場所初の三役戦となる新小結豊昇龍との一番が組まれた。上位戦が増えることが予想され「気を引き締めて、しっかりと研究して相撲を取りたい」と備えを口にした。

きょうの取組
10日目

（西）	（東）
対馬洋―白鷹山	大翔丸―朝乃若
島津海―平戸海	東白龍―大奄美
炎鵬―熱海富	水戸龍―東龍
美ノ海―琴裕将	竜電―大翔鵬
武将山―貴健斗	錦富士―王鵬
北の若―矢後	剣翔―翠富士
＝十両＝	
荒篤山―千代丸	阿武咲―つきおとし
琴恵光―千代大海	大栄翔―ひきおとし
照強―輝	宝富士―すくいなげ
妙義龍―佐田海	若隆景―わたしこみ
志摩ノ海―千代翔	遠藤―よりきり
高安―隠岐海	正代―こてなげ
琴ノ若―碧山	御嶽海―よりきり
若元春―翔猿	よりたおし
北勝富―錦木	よりきり
豊山―よりたおし	よりきり
栃ノ心―はたきこみ	よりきり
錦木―よりたおし	翠富士―王鵬
豊山―はたきこみ	翠勝峰―一山本
栃ノ心―はたきこみ	翠勝峰―一山本
錦富士―よりきり	翠富士―王鵬
大奄美―よりきり	翠勝峰―翠富士
琴恵光―はたきこみ	荒篤山―つきだし
琴ノ若―おしだし	千代大海―ひきおとし
若元春―はたきこみ	大栄翔―すくいなげ
宝富士―わたしこみ	若隆景―よりきり
遠藤―よりきり	正代―こてなげ
御嶽海―よりきり	御嶽海―よりきり
玉鷲―明生	豊昇龍―隆の勝
豊昇龍―宇良	阿炎―逸ノ城
貴景勝―阿炎	貴景勝―豊昇龍
逸ノ城―明生	宝富士―千代翔
千代翔―隠岐海	千代翔―隠岐海
千代大海―碧山	千代大海―碧山
千代翔―翔猿	千代翔―翔猿
御嶽海―北勝富	御嶽海―北勝富
霧馬山―はたきこみ	霧馬山―はたきこみ
阿武咲―つきおとし	阿武咲―つきおとし
大栄翔―おしだし	大栄翔―おしだし
宝富士―おしだし	宝富士―おしだし
若隆景―よりきり	若隆景―よりきり
遠藤―よりたおし	遠藤―よりたおし
正代―よりきり	正代―よりきり
御嶽海―よりきり	御嶽海―よりきり
明生―よりきり	明生―よりきり
宇良―つきおとし	宇良―つきおとし
隆の勝―すくいなげ	隆の勝―すくいなげ
阿炎―わたしこみ	阿炎―わたしこみ
貴景勝―よりきり	貴景勝―よりきり
豊昇龍―こてなげ	豊昇龍―こてなげ
玉鷲―おしだし	玉鷲―おしだし
琴勝峰―はたきこみ	琴勝峰―はたきこみ

10日目見どころ

▽阿炎―若隆景　同学年の新関脇同士が初顔合わせでぶつかる好取組。熱のこもった一番が期待できそうだ。もろ手突きで相手の出足を止めれば阿炎の流れだ。腰高は禁物。膝を曲げて威力ある突き、押しを浴びせたい。

若景は突きをあてがい、徹底して下から攻めることだ。おっつけて横を向かせ、一気に走れるか。阿炎の引きは要注意。

サンダーズ見どころ

アウトサイド攻撃で優位に
第26節・川崎戦
第27節・広島戦

バスケットボール男子Bリーグ1部（B1）の群馬クレインサンダーズは第26節の23日は太田市運動公園市民体育館で川崎、第27節の26、27日は広島市の広島サンプラザホールで広島と対戦する。

川崎は高い攻撃力で天皇杯を連覇し、東地区でも首位を争う強豪だが、2月の第17節はサンダーズがアウェーで2連勝した。2試合とも3点シュートで流れを渡さず、守備も最後まで強度を落とさず対応した。今回の対戦もアウトサイドの攻撃で優位に展開したい。

広島は西地区5位で今回が初対戦。SG辻直人、PG寺嶋良やセンター兼PFのニック・メイヨ、センターのチャールズ・ジャクソンら攻撃力が高い。サンダーズは守備から攻撃につなげるパターンで対抗したい。

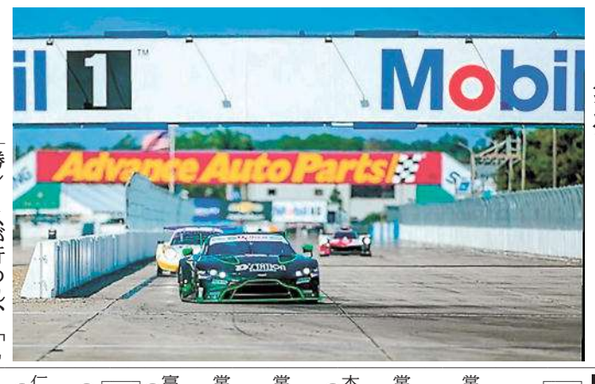
サンダーズは第24節の横浜戦に競り勝ったが、25節の千葉戦は2連敗。川崎、広島と強豪との対戦が続くが上位進出へ勝利を重ねたい。

全国高校選抜

柔道
（21日・日本武道館）
▽男子団体1回戦
常磐2―1東海大大阪（仰星）
▽同2回戦
常磐2―1木造（青森）
▽同3回戦
木更津総合（千葉）4―1常磐
▽女子団体2回戦
常磐2―1盛岡南（岩手）
▽同3回戦
常磐2―1創志学園（岡山）
▽同準々決勝
富士学苑（山梨）2―1常磐

テニス
（21日・博多の森テニス競技場）
▽女子団体1回戦
仁愛女（福井）4―1前橋育英

Dステ6位入賞
「LMGTE」アマクラス


6位に入賞したDステーション・レーシング

自動車・世界耐久選手権第1戦

自動車の世界耐久選手権シリーズ第1戦は21日までに